

理論訓示 第18回 空気感の重要性

同じパズル道場のプログラムでも、どのような空気感の授業で取り組んだかどうかで、効果は変わってきます。

どんな科目でもそうですが、特に思考力育成の授業では空気感が重要です。

それでは効果が高まる空気感とはどんな状態でしょうか？

それは張り詰めた空気を感じる状態です。

もちろん、おしゃべりをする人はいません。

さらには、そこにいる全員が、できるできないにかかわらず、真剣に取り組んでいる状態です。このような空気感の中でパズル道場のプログラムに取り組めば、さらに高い効果が得られます。

さて、そのような空気感を作るにはどうしたらいいのでしょうか？

個別指導の授業でパズル道場に取り組んでいる人は、自分がかんばればいいのですから、とても簡単です。しかし、集団指導の授業では、たった1人がおしゃべりしたり、真剣に取り組まないだけで、理想の空気感はつくれません。

ですから、みなさんの力で、全員の力で理想の空気感をつくるものなのです。・・・簡単な事ではないですね。

パズル道場には、理想の空気感をつくる為のきびしいルールがあります。

とてもきびしいルールです。でも、このルールの目的は、先生が授業をやりやすくする為ではありません。みなさんの思考力を向上させる為のルールです。

くりかえしますが、パズル道場の授業の理想の空気感とは、張り詰めた空気を感じる状態の授業です。

なぜならば、その場にいるだけで集中力が高まり思考力のトレーニングの効果が高まるからです。この事を『場の力』といいます。『場の力』は人数が多ければ多いほど大きな力となります。

そして『場の力』を活用して、さらに思考力をアップさせるのがパズル道場なのです。

おしゃべりしたり、やる気がない人がいたり、わらいながら取り組んだり・・・こんな授業では楽しいかもしれませんが、思考力は少ししか育成されません。

パズル道場の理想の授業とは、理想の空気感で行われている授業なのです。

先生がどんなにかんばっても、全員がこのことを理解して実践しないと理想の授業にはなりません。自分自身のために、そして、同じクラスの人たちのために、理想の空気感の授業を実現しましょう。